

平成30年度いばらきっ子郷土検定問題 解答と解説

銚田市 解説

組	番	氏名
---	---	----

番号	解 説	答
1	銚田市の市章は、「4」です。朝日が昇る様子をモチーフに、人と豊かな自然環境の調和を図り、街が大きく発展していく様子を表しています。	4
2	2005年(平成17年)10月11日に旧銚田町、旭村、大洋村が合併して銚田市が発足しました。	1
3	2018年(平成30年)6月1日現在の銚田市の人口は49,235人で、約5万人です。	3
4	銚田市PRキャラクター「ほこまる」は、豊富な農産物をはじめとする銚田市の魅力を日本中にPRするため、全国からの公募により誕生しました。誕生日は、2008年(平成20年)11月29日です。好きな食べ物は、銚田市のメロンです。	4
5	2018年(平成30年)4月現在、銚田市内の小学校は16校、中学校は4校、合わせて20校あります。2019年4月には銚田南小学校が開校し、学校数が減少します。	2
6	2018年(平成30年)2月3日に東関東自動車道茨城空港北インターチェンジから銚田インターチェンジが開通しました。その区間の距離は8.8キロメートルです。	1
7	銚田市が誕生して13年目になりますが、2017年(平成29年)11月に銚田市長として選ばれた岸田一夫氏は2代目の市長です。	2
8	銚田市大竹にある人気の公園は、鹿島灘海浜公園です。休憩棟では、銚田の特産品が販売されており、多くの人々が訪れています。雄大な鹿島灘の絶景スポットとして、自動車のCM撮影にも度々使われています。	2
9	子生は「こなじ」と読みます。旭地区にある地名です。	3
10	公設海水浴場があるのは大竹海岸です。茨城のゴールドコーストとも呼ばれ、海水浴のほかサーフィンや潮干狩りでも人気の海岸です。	1
11	ほこたハーフマラソン大会は、毎年12月に開催される銚田市最大のスポーツイベントです。小学生から高齢者の方まで幅広く愛され、気軽に参加できる大会として全国からランナーが集まります。10回目を迎えた2014年(平成26年)から、10キロメートルに代わり、ハーフマラソン(21.0975キロメートル)が加わりました。	4
12	2012年(平成24年)に品種登録された茨城県オリジナルのいちごは「いばらキッス」です。	2
13	銚田市農業振興センターでは、食の安心安全を進めるため土壌分析を行っています。	3
14	銚田市のメロン作りは1966年(昭和41年)から始まり、最初はプリンスメロンが栽培されました。これまでにアンデスメロン、クインシーメロンなどたくさんの品種ができ、約50年の歴史があります。	2
15	「あけぼの館」では、銚田市内から出土した土器等の埋蔵文化財出土資料を保管しています。例年、小中学校の夏季休業期間に合わせて開館し、展示している資料の一般公開を行っています。	1
16	三階城(さんがいじょう)は、銚田川の周辺のかつての沼沢地に臨んだ比高16メートルほどの低い台地上にありました。この辺りの地は安房(あんぼう)と呼ばれ、三階城は安房氏の城でした。三層の絶壁を形成していたことから、三階城と呼ばれています。	4
17	「幽霊の囀」や「拾遺古徳伝絵」など、数多くの寺宝を所蔵している寺は、無量寿寺です。無量寿寺には、この他にも本堂や鐘楼、菩提樹など県から指定された文化財・天然記念物がたくさん保存されています。	4
18	銚田市青柳の不二内(ふにうち)古墳から出土した男子跪坐像埴輪は、国の重要文化財として東京大学総合研究博物館に所蔵されています。	2
19	2016年(平成28年)4月に青柳小学校、巴第一小学校、大和田小学校、舟木小学校、徳宿小学校の5つの小学校が統合してできた学校は銚田北小学校です。	3
20	2020年東京オリンピック・パラリンピックで、銚田市がホストタウンとして認定されている国はベトナムです。ベトナムで正装として着用されている女性の民族衣装はアオザイです。	1
21	涸沼とその周辺には200種を超える野鳥の生息が確認されており、そのうち約75パーセントが渡り鳥です。	4
22	上釜・別所釜・武与釜・高釜・京知釜・堺釜は、海の近くなので塩づくりがさかんな地域でした。釜は塩をたくときの大切な道具です。	2
23	銚田市内には、涸沼、鹿島旭、徳宿、新銚田、北浦湖畔、大洋の6駅があり、市民の大事な足になっています。	3
24	2019年に銚田市で行われる競技から、スポーツクライミングに名称が変わります。スポーツクライミングには、「リード」と「ボルダリング」があり、銚田総合公園が会場になります。体育館にはすでにクライミングボードが設置されていて、体験ができるようになりました。	4
25	2015年(平成27年)5月29日、涸沼がラムサール条約に登録されました。この条約の正式名称は、「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」で、この条約が作成された地であるイランの都市ラムサールにちなみ、ラムサール条約と通称で呼ばれています。	3